

「山のじいちゃん・ばあちゃん」世代間交流事業

団体名：三浦ゼミ（金城大学短期大学部 幼児教育学科）

参加学生：右今真美・河本菜摘・島村沙耶・西田萌

1. 地域活動の概要

白山市の幼稚園・保育園等や自治体・団体との連携の下、様々なボランティア活動に参加することで、幅広い社会経験を積み、地域や将来の仕事への理解を深める。

また、地域及び世代間の交流を実際に体験し、地域の橋渡しに協力する。

2. 地域活動の具体的な内容

■ 「山のじいちゃん・ばあちゃん」世代間交流事業への参加

NPO 法人「おやこの広場あさがお」協力の下、白山麓の高齢者と平野部の親子との交流をはかり、季節ごとに交流会を開催する。

1) 実施日時と参加者数

| 日時 | | 参加者数 | | 場所 |
|---------------|------------|---------------------|----|---------------------|
| | | 親子 | 学生 | |
| 8月7日 (土) | 9:30~15:00 | 13組 大人18人・子ども23人 | 4 | 吉野谷地区 中宮地区集会所・周辺 |
| 11月20日 (土) | 9:30~15:00 | 14組 大人19人・子ども24人 | 4 | 吉野谷地区 中宮地区集会所・周辺 |
| 2月26日 (土) | 8:30~16:00 | 参加予定 | | 吉野谷地区 中宮地区集会所・周辺 |

2) 実施内容

白山市役所に集合し、バスで吉野谷地区に向かい、地域の方々と交流する。

● 第1回活動 8月7日(土)

| |
|--------------------|
| ・昆虫探し |
| ・町並みの散歩 |
| ・流しそうめん |
| ・昼食（大皿でおにぎり，漬物，豆腐） |
| ・集会所で住民と交流 |



吉野谷地区の方と参加した大人で協力して流しそうめんを準備し、全員で様々な会話をしながら食した。虫取りでは、自然との出会いが少なくなっている最近の子どもたちが、自然と実際にふれあうことで興味を持ち、新しい発見・挑戦をしてくれるように言葉かけ等をおこなった。集会所での交流では、吉野谷地区のみなさんのお手玉など、子どもたちには珍しい体験があった。



後日、当日の写真を使って壁新聞を作成して地区に送り、皆さんに見ていただいた。

● 第2回活動 11月20日(土)

| |
|---------------------------|
| ・焼き芋 |
| ・町並みの散歩 |
| ・昼食(大皿でおにぎり, おでん, 漬物, 豆腐) |
| ・集会所で住民と交流 |



旬の食材のさつまいもを新聞紙でくるみ、炭火で焼き芋を作った。子どもの中にはさつまいもを好きな子が多く、焼き芋を作った吉野谷地区の方々は子どもたちの嬉しそうな顔を見て大変喜ばれていた。昼食では大皿をみんなで囲み、様々な会話をしながら吉野谷地区の方々を作っていたいただいた食事をおいしく頂いた。



後日、当日の写真や参加者からの手紙を使って壁新聞とアルバムを作成して地区に送った。

● 第3回活動予定 2月26日(土)

| |
|------------------------|
| ・雪遊び(かまくら, 滑り台等) |
| ・昼食 |
| ・集会所で住民と交流(子育て相談等) |
| ・自由行動(雪遊び, お風呂, お買い物等) |

3.地域活動の評価

白山麓は高齢化が進み、若者の転出によって、子どもがいない状況である。その一方で平野部では、核家族化により、子どもたちが「おじいちゃん・おばあちゃん」と接する機会は少ない。今回、平野部と山麓部の交流と世代間交流を図ることで、地域と子育ての関係性とその重要性について、改めて実感できた。

4.今後、この地域活動を継続、活性化していくために必要なもの、及び課題

今回の活動を振り返り、地域交流や世代間交流が重要ということが実感できた。しかし、現代の子どもたちは自然と触れ合う機会が少ないため、活動のなかに自然と関わることのできる機会をより多く作ることが課題である。そのためには、活動計画を工夫することはもちろん、自然や地域に関する多くの知識も持っていなければならないと実感した。

また、吉野谷地区の高齢者の方々と子どもたちの直接の交流が少なかった事から、より積極的に交流するきっかけを作り出すことが必要だと思われる。

5.その他(学生・地域の方々からの感想等)

(学生)

- ・3世代にわたる貴重な交流の場に参加できて、様々な知恵や話を聞くことができた。
- ・子どもたちが自然の中に出た時にどのような行動・発言をするのかを見ることができた。
- ・保護者の方々との交流が少なかった。
- ・短大で学んできたことを生かすことができた。(手遊び等)
- ・地域・世代間交流が子育て(子ども)、にとってすごく重要な役割を果たすと実感した。
- ・自分たち自身も大自然のなかで多くの発見をした。

(地域の方々)

- ・着いてすぐ、山のおじいちゃん・おばあちゃん達と手遊びやおやつを食べる等、仲良くなるための導入時間があれば子どもの緊張もほぐれたかもしれないと感じた。
- ・いつも遊びに行くような(公園や児童会館など)ところではなかったので、初めはとまどっていた娘も草つき、虫取りなどに夢中になっていました。本来の遊びの姿を見たように感じました。
- ・色々な人生の知恵を蓄えられたおじいちゃん・おばあちゃんの温かさに触れることができました。子育てに対する肩の力も抜けて本当に良い経験になりました。